

鑑賞領域において、 自分の思いや考えを生かして聴き深めることができる児童の育成

—「曲から感じ取ったことの言語化」と「音楽を形づくっている要素の働きを実感するための比較」を通して—

令和6年度 前橋特別研修研究員
前橋市立上川淵小学校 岡田麻未

研究の目的

音楽科の鑑賞領域において、「曲から感じ取ったことの言語化」と「音楽を形づくっている要素の働きを実感するための比較」を通して、自分の思いや考えを生かして聴き深めることができる児童の育成を目指す。

目指す児童像

自分の思いや考えを生かして聴き深めることができる児童

聴き深めたことを伝え合う言語活動

この楽器の△△が〇〇な感じを出している！
だから、曲を聴いていると□□□な気持ちになるんだ！！

この曲を聴くと、なんだか□□□な気持ちになるな

感じ取ったこと

聴き取ったこと

感じ取ったことと、聴き取った「音楽のもと」をつなげて考えましょう



手立て2 「音楽を形づくっている要素の働きを実感するための比較」

聴き取ったこと

楽器の△△によって、追われている感じがしたのか

楽器の何が曲のよさや面白さを生み出しているのでしょうか

比較の方法

♪異なる2曲の比較

例 速い曲 と 遅い曲

♪同一曲での比較①

例 本来の演奏 と 特定の要素を変化させた演奏

♪同一曲内の比較

(曲の中の要素の働きが対照的な部分の比較)

例 同一曲内 A部 と B部

♪同一曲での比較②

例 本来の演奏 と 特定の楽器を除いた演奏

音色 リズム 速度 旋律 強弱

音の重なり 和音の響き 音階 調 拍

フレーズ 反復 呼びかけとこたえ 変化

どうして追われていると感じたのだろう



手立て1 「曲から感じ取ったことの言語化」

感じ取ったこと

何かに追われて〇〇な感じ！
【言語化】

曲を聴いてどのように感じましたか

共有

インタビュー、体の動きの真似

〇〇な感じ？

自由に表す

絵や図、言葉、体の動きなど



曲との出会い



児童の実態

曲の音楽的特徴を聴き取ったり、曲から感じ取ったことを共有したりすることに留まり、聴き取ったことと感じ取ったことを生かして、曲について自分なりに思いや考えをもつまでには至っていない。

指導上の課題

一定の枠に当てはめて鑑賞の活動を展開することが多く、児童一人一人の思いを生かした鑑賞の活動ができていない。

まとめる

追求する

つかむ

音楽コメンテーターになって「つるぎのまい」を紹介しよう

まとめる



ティンパニの激しいリズムから始まり、木琴の細かいリズムの旋律は、まるで何かに追われて逃げ回っているよう。
トロンボーンの合いの手は、さらに音楽を盛り上げます。
次々といろんな楽器が登場し、にぎやかな音楽なので、元気が出て、私はそこが好きです！

感じ取ったこと

聴き取ったこと



感じ取ったことと、聴き取った「音楽のもと」をつなげて考えましょう

手立て2「音楽を形づくっている要素の働きを実感するための比較」

聴き取ったこと

速度が速いだけでなく、木琴の細かいリズムが、あわただしさを生み出しているのか！



あなたの感じ取ったことは、楽器の何が関係しているのでしょうか



音色 リズム 速度 旋律 反復 変化
呼びかけとこたえ

♪同一曲内の比較

指揮や拍打ちをして冒頭部と中間部の速度を比較する

実際にやってみる



なぜ速く感じるのかな

途中で遅くなったと思ったけれど、速さは変わっていない！



この細かいリズムが速さのもと！

♪同一曲での比較

<ある版>と<ない版>を聴き比べる

<ある版>
この合いの手から、飛び上がった感じ！



<ない版>
なんだか物足りない…



あの楽器の音があることで感じ方が変わった

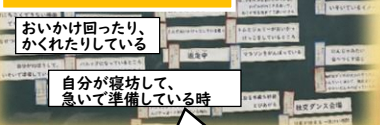


<ある版>と同じことを思い浮かべましたか

手立て1「曲から感じ取ったことの言語化」

感じ取ったこと

感じ取ったことの短冊



おいかけ回ったり、かくれたりしている

自分が寝坊して、急いで準備している時

曲から感じたことがはっきりしたぞ！

想像力がふくらんでもっと曲が楽しかった

相手の感じたことが分かったし自分の感じたことも再確認できた！

私は曲から感じたことを、最初から文章で考えるより、絵の方が、表しやすいな

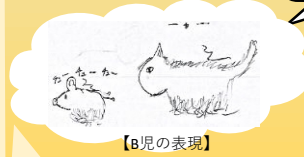
共有



体の動きの真似



インタビュー



【B児の表現】

曲に対する感情がどどんわいてきた！

急いでる感じ？

なんか激しいな

自由に表す

体の動き

言葉と絵

絵

曲を聴いてどのように感じましたか

「つるぎのまい」との出会い



【A児の表現】

つかむ

成果と課題

- 一人一人が、曲から感じ取ったことを明確にすることで、曲に十分向き合い、聴き深めていく出発点とすることができた。
- 音楽を形づくっている要素の働きについて実感することは、感じ取ったことと聴き取ったことが結び付き、自分の思いや考えを生かして、曲全体を聴き深めることにつながった。
- 児童が自分にとっての曲のよさや面白さを見だし、楽しみながら鑑賞の活動に取り組むことができた。
- ◇言語活動や、音楽を形づくっている要素の働きを実感するための活動について、発達段階に応じて内容を工夫し、低学年からでも取り入れることが必要である。